

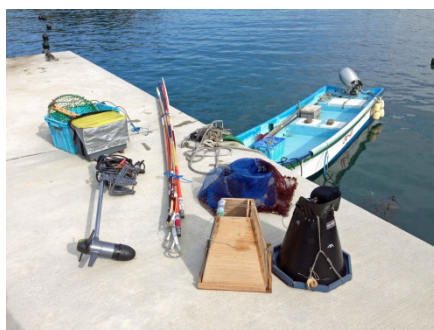
三陸海域の養殖業における震災復興と未来

日時：2016年12月13日（火）10:30～16:45（魚市場見学：12月14日6:30～8:00）

場所：気仙沼魚市場大会議室（宮城県気仙沼市魚市場前8-25 電話0226-23-3400）

共催：一般社団法人水産海洋学会，岩手大学三陸水産研究センター，宮城県水産技術総合センター，岩手県水産技術センター，水産研究・教育機構東北水産研究所，いわて海洋研究コンソーシアム

後援：宮城県漁業協同組合気仙沼総合支所，気仙沼漁業協同組合



開催趣旨

三陸沿岸域は、リアス海岸の特性を生かしたワカメや貝類を対象とする養殖業が盛んに行われてきたが、2011年に発生した東日本大震災によってこれまで培われてきた生産基盤を失うこととなった。震災から5年が経過する中で、養殖業の再建による水産業の復旧・復興が順次進められ、養殖生産量は震災前の水準に近づきつつある。しかし、漁業者の減少や度重なる気象災害による漁具破損などがあり、完全な復興には至っていない。その一方で、生産～流通・販売に至る様々な過程で震災前とは異なる新たな取り組みも始まってきている。そこで本研究集会は、震災後の三陸地域における養殖業の現状と課題を共有するとともに、気象条件や漁場環境の変動に頑健で持続的な三陸海域における養殖業のありかたを展望する。

プログラム

1. 主催者挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10:30~10:35
2. 趣旨説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10:35~10:45
3. 基調講演・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10:45~11:15
今後の三陸漁業に漁具屋が貢献できること
廣野一誠（アサヤ株式会社専務取締役）
4. 東日本大震災以降の三陸海域における養殖漁場環境変動・・・・・・・・ 11:15~12:05
(1) 岩手県海域 内記公明（岩手水技センター 研究員）
(2) 気仙沼湾海域 澁谷和明（気仙沼水試 技師）
(お昼休憩)
5. 東日本大震災後の三陸海域における養殖業の現状と課題・・・・・・・・ 13:15~14:55
(1) 「がんばる養殖」の成果と課題 濱田武士（北海学園大 教授）
(2) 三陸海域の貝類養殖漁場における生産力と適正養殖量水準評価の現状と課題
神山孝史（水産機構東北水研 部長）
(3) 養殖対象別の現状と課題
海藻養殖 西洞孝広（岩手水技センター 部長）
宮城県養殖振興プランについて~二枚貝養殖~ 石川哲郎（宮城県庁 技師）
(休憩)
6. 三陸養殖業における新たな展開・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15:10~16:00
(1) 磯焼け問題へのウニノミクスの適用 高橋栄樹（JFみやぎ歌津支所 青年部）
(2) つくる人と食べる人の新しい関係 佐々木淳（綾里漁協 小石浜青年部長）
7. 総合討論・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16:00~16:45
8. 閉会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16:45

当日申し込み可、入場無料です。
なお、魚市場見学をご希望の方は12月6日（火）までに下記担当までご連絡ください。

<お問い合わせ／参加申し込み先>

岩手県大学 三陸水産研究センター 担当：後藤
(電話：0193-26-7915 E-mail：t-gotou@pref.iwate.jp)
宮城県気仙沼地方振興事務所 水産漁港部 担当：渡邊
(電話：0226-22-6852 E-mail：watanabe-ka825@pref.miyagi.jp)